

警固校区2つ目のマシジョン自主防災会

各班合同の防災訓練を実施

中央区警固校区内のマシジョンで、天神ロイヤルガーデンに次いで2例目の自主防災会を立ち上げた今泉コーラス(11階建て、48世帯=今泉2)で11月7日、各班合同の防災訓練が行われました。
立ち上げられたのは昨年夏。要援護者・避難誘導班、防火・救出班、救護・生活班の3班で構成し、会長に管理組合理事長、班長に各理事が兼任しました。天神ロイヤルガーデンに倣って詳細な全戸台帳と、これに基づく要援護者リストも作成し、万が一に備えを固めています。
訓練は、午前9時50分、地震発生を告げる警報を合図に行動開始。住民は各家庭でまず安全を確認し、防災会各班は10時を期してそれぞれの役割に合った取りかかりました。

佐藤 義雄・防災会長は「防災会の実体は生まれればかりの状態で、これから住民の意識付けと訓練を積み重ねていく中で内容の充実を図っていきたい」と話しています。

天神ロイヤルガーデンでも

マシジョンにおける自主防災会立ち上げの先駆け、天神ロイヤルガーデン(15階建て=中央区)でも自主防災会(全108世帯、約170人加入)の主催で11月21日、負傷者救出・搬送や応急手当、避難、炊き出しなど担当8班合同の訓練が実施されました。ほぼスムーズに運び、見学に訪れた様々な人たちが評価する声が聞かれました。
見学には博多あん・あんリーダー会員をはじめ、市の警固・危機管理課、中央区役所地域振興・支援課職員、福岡校区自治協議会役員、福岡管理組合連合会理事、それに近隣マシジョン住民ら多くの人がたちも集まっています。



放水講習も(今泉コーラスで)

子ども防災塾

防災士が指導

東区内の小、中学生を対象とする「舞松原子ども防災塾」がここのほど舞松原公民館で開講。博多あん・あんリーダー会東、博多両支部の防災士6名が先生役になって指導しました。
防災意識と協働性、危機管理能力を少しでも高めようと東支部長の吉水恵介・防災士が立案したもので、舞松原小学校4~6生と多々良中学校1年生の計23名が勉強しました。

災害と、これに対処するための話をはじめ4組に分かれてのクローズド・ゲーム、地域の危険箇所や避難場所などを印し非常食作り、それにより非常に作りやすい、パイピング方式の試食会も賑やかに行われました。
学校や行政の関係者も参加に訪れ「良い催し」などと話していました。
(東支部長 松嶋 慧一・防災士) 同支部 吉水 恵介・防災士)



クロスロード・ゲームで防災勉強(舞松原公民館で)

1階の「よみうりプラザ」で開かれ、炎土は、防災士として心構えや他団体との連携問題など、ややもすると忘れがちな原点の再認識について強調しました。
(リーダー会 阿比留哲・防災士)

今年も博多支部で取り組む 中学生の防災士養成授業

福岡市博多区の東光中学校の1年生を対象にした「防災士養成授業」が9月16日、東光公民館で行われました。参加したのは62名。0名のリーダー会員がテーマとして授業を添えました。
1日、東光公民館で、生徒たちはパワポイントで映し出される映像を見ながら、地震災害の状況を判断するゲームと、生徒たちはパワポイントで映し出される映像を見ながら、



塾生を激励する懇親会

塾生を激励する懇親会

博多あん・あんリーダー会の研修の展開等について、それぞれ語り合った。
博多あん・あんリーダー会の研修の展開等について、それぞれ語り合った。
博多あん・あんリーダー会の研修の展開等について、それぞれ語り合った。

研修会開く 講師にリーダー会幹部

「勁草力」を体現することではありますまいか。の事業の中で、底知れぬ私たちが防災士1人ひとりに求められるのは、



塾生を激励する懇親会

私たち防災士1人ひとりに求められるのは、この事業の中で、底知れぬ「勁草力」を体現することではありますまいか。の事業の中で、底知れぬ私たちが防災士1人ひとりに求められるのは、

平成23年度 福岡市との共働事業発進へ!

博多あん・あん(安全)・あん(安心)リーダー一会は、福岡市との共働事業を今年度から発進させたいと考えています。福岡市は、防災意識の普及・啓発の観点から、市民や子どもたちに対する防災意識の普及・啓発の観点から、市民や子どもたちに対する防災意識の普及・啓発の観点から、

- ① ジュニア防災士養成事業として参加・補助座に講師として参加
- ② 福岡市の主催する出前講座
- ③ 福岡市の主催する出前講座
- ④ 出前講座や防災訓練等の講師・支援者
- ⑤ 出前講座や防災訓練等の講師・支援者
- ⑥ 出前講座や防災訓練等の講師・支援者
- ⑦ 出前講座や防災訓練等の講師・支援者
- ⑧ 出前講座や防災訓練等の講師・支援者
- ⑨ 出前講座や防災訓練等の講師・支援者
- ⑩ 出前講座や防災訓練等の講師・支援者



共働事業2次審査で行われた公開プレゼンテーション

文章教室も

また、11月の交流部会は5日、中央区の「あすみん」で文章教室が開かれました。リーダー会代表幹事(副会長)の阿比留 哲・防災士が「文章を考える」をテーマに話ししました。



賑やかにクーシューツ講座(浜浜公民館で)

6期生との懇親会 盛り上がる

福岡市と読売新聞西部本社が防災リーダーの育成を目的に毎年開催する「あんあん塾」の今年第6期生も約半年間にわたる防災士として活躍を終え、いよいよ防災士として活躍の舞台に上がります。

前号の小欄で「勁草」について考えてみました。出典の後漢書によると、勁草は疾風などいかなる逆境に直面しようとも萎を震わせながら、敢然と立ち直る強固な意思、たすまいを見せる強い草のこととあります。

編集後記

